MITSUBISHI

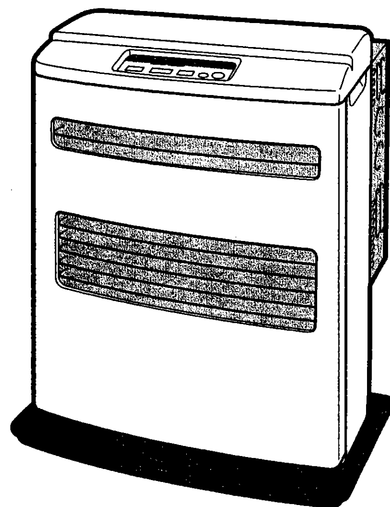


お客さま用

三菱クリーンヒーター®
〈密閉式石油ストーブ〉

形名
VKT-402L
VKT-302L

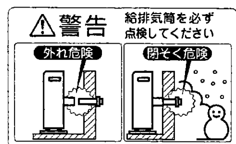
取扱説明書



この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
とくに「安全のために必ず守ること」をご使用前に必ず読んで安全にお使いください。

- この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りになり説明書と共に保存してください。

お客さまご自身では据付工事をしないでください。（安全や機能の確保ができません）

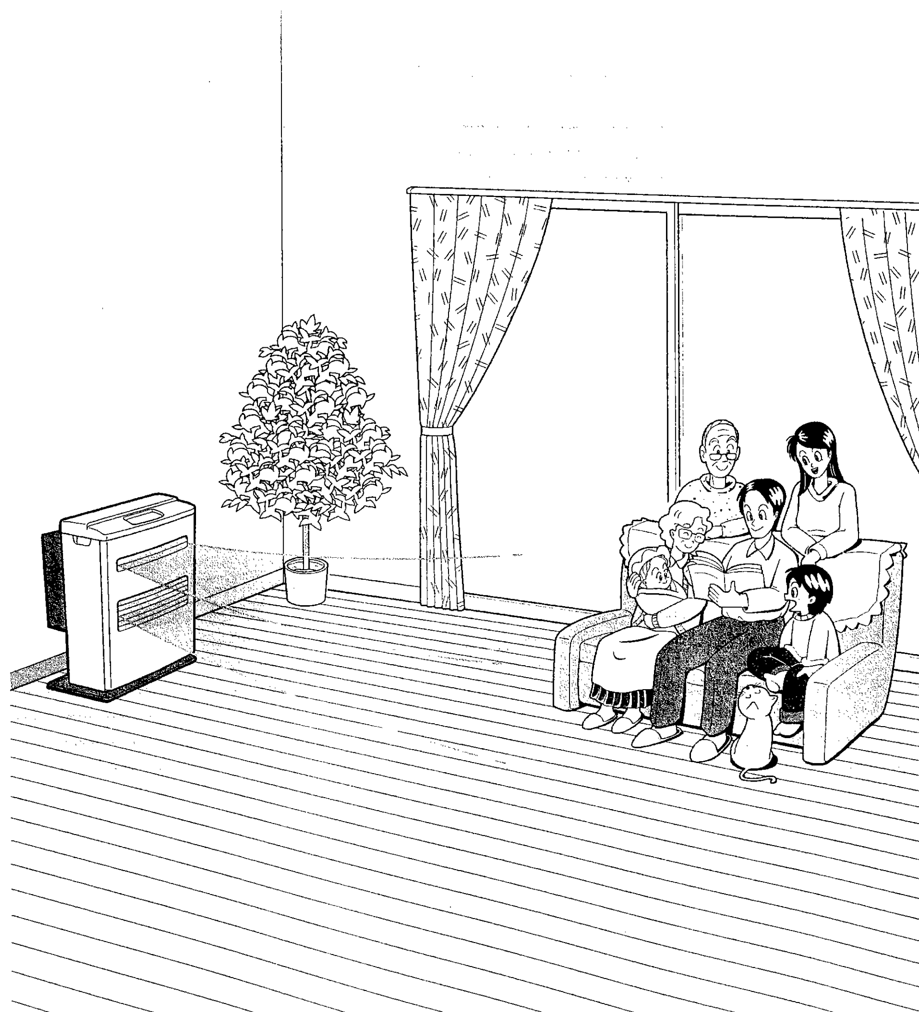


0109872HA1202

足元から、そして部屋中に広がる、

デュエットフロー温風

上下吹き出しの温風制御で立ち上がりは、足元温風でお部屋を素早く暖めます。
また、お部屋が暖まれば温風が直接からだに当らないように上向きの微風に調節します。
温風による吹かれ感の少ない、すこやかな暖かさです。



もくじ

次のようなマークで必要な情報を示しています。

[お願い] 正しく使っていただくための情報です。

メモ より便利にご使用いただくための情報です。

ミニ情報 細部の機能説明です。

ページ 参照ページを示します。

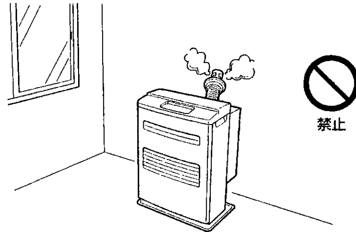
安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

⚠危険　取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合	⚠警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合	⚠注意　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

⚠危険

屋内給排気厳禁
お客さまご自身では据付工事をしない。
（異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります）



禁止

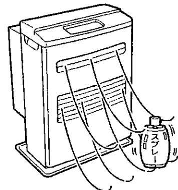
⚠警告

ガソリン厳禁
ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。
（火災の原因になります）



ガソリン厳禁

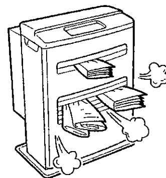
スプレー缶接近厳禁
（爆発の原因になります）





接近厳禁

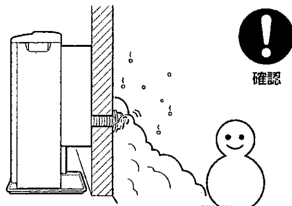
温風吹出口をふさがない
衣類・紙などで温風吹出口、空気取入口をふさがない。
（火災の原因になります）





禁止

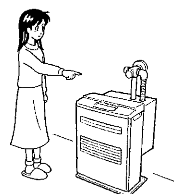
給排気筒トップ閉そく危険
積雪の多いときは、給排気筒トップが雪でふさがれていないか確認し、ふさがれているときは除雪する。
（排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります）





確認

はずれ危険
給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか点検する。
（はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります）





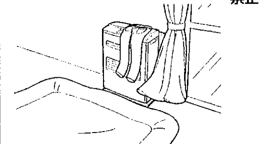
接続点検

⚠注意

カーテン・可燃物近接禁止
（過熱により火災の原因になります）



禁止



温風に直接あたらない
温風を長時間、直接身体にあてない。お子さまや身体の不自由な方が使用になるときは、まわりのひとが注意してください。
（低温やけど・脱水症状の原因になります）

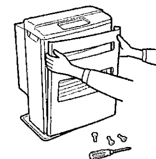


禁止

分解修理の禁止
（感電事故の原因になります。不完全な修理は危険です）



分解禁止

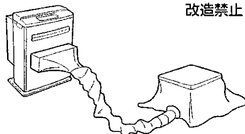


修理は販売店にご依頼ください

改造使用の禁止
温風をダクトなどでこたつへ引き込むなどの改造はしない。
（火災や排気ガスが室内にもれる原因になります）



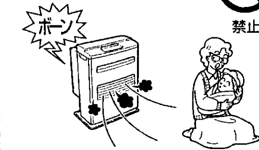
改造禁止



異常時使用禁止
万一異常を感じたときは、使用しない。
（異常燃焼のおそれがあります）



禁止



販売店に点検・修理をご相談ください

高温部接触禁止
温風吹出口や給排気筒トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。
（やけどをします）



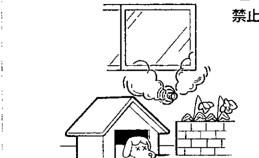
接触禁止



排気ガスに注意
愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。
（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）



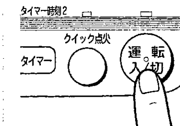
禁止



給油時消火
（火災の原因になります）



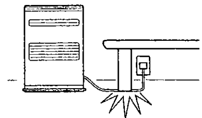
消火



電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしない。
また、コードを持って引き抜かない。
（火災や感電の原因になります）



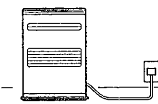
禁止



電源プラグは確実に差し込む
（火災の原因になります）



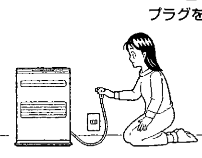
確認



長期間使用しないときは電源プラグを抜く
（火災や予想しない事故の原因になります）



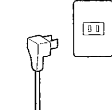
プラグを抜く



電源プラグのお手入れを
ときどき電源プラグを抜き、ほこりを取除く。
（火災の原因になります）



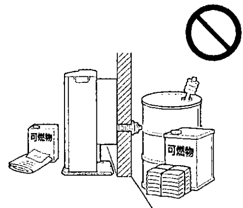
ほこりを取る



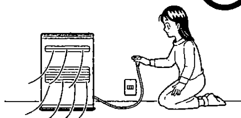
安全のためのお願い

安全のためのお願い

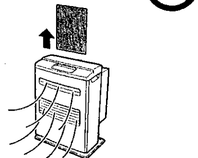
●製品の周辺や給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない
（過熱により火災の原因になります）



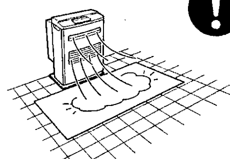
●燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源（ブレーカー）を切らない
（余熱により故障する原因になります）



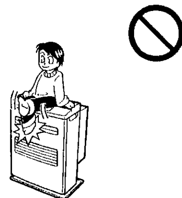
●使用中にエアーフィルターをはずさない
●エアーフィルターをはずしたまま使用しない
（ほこりが機器内部に入り、故障の原因になります）



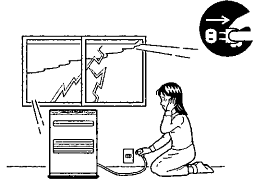
●熱に弱い床面は保護する
熱に強いマット類を敷く
（床面が変色したりそりかえることがあります）



●腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない
（変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります）

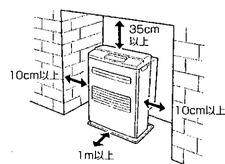


●雷のとき
電源プラグを抜く
（故障するおそれがあります）



安全に使用するために

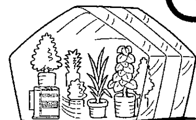
●本体周辺の空間寸法を確保する
（マントルピース内据付けについても下記寸法を確保する）





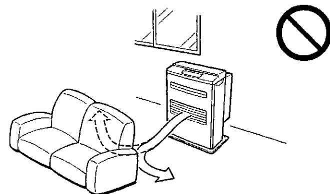
（詳しくは 23ページ）

●居室の暖房以外の用途で使用しない
次のような場所では使わない
●乾燥室
●温室
●飼育室
●化学薬品を使用する場所



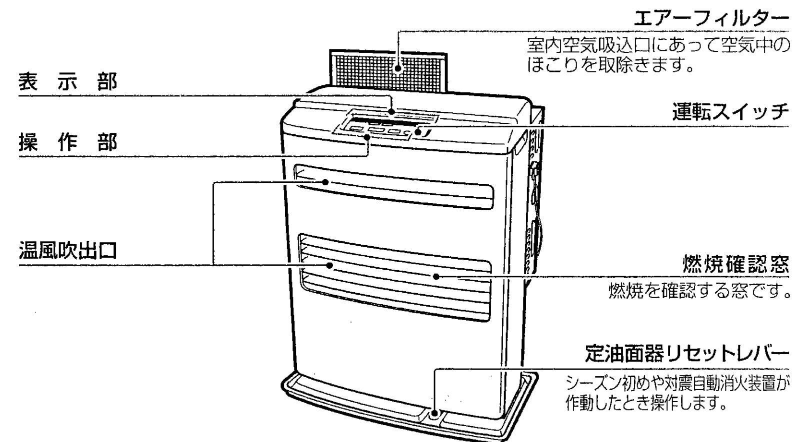
効果的に使用するために

●温風の循環を妨げない
（均一に暖まりません）

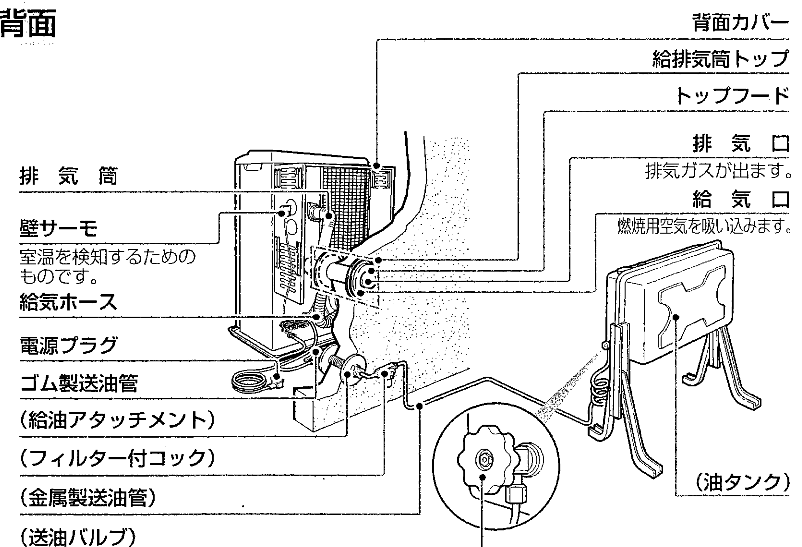


各部のなまえとはたらき

正面



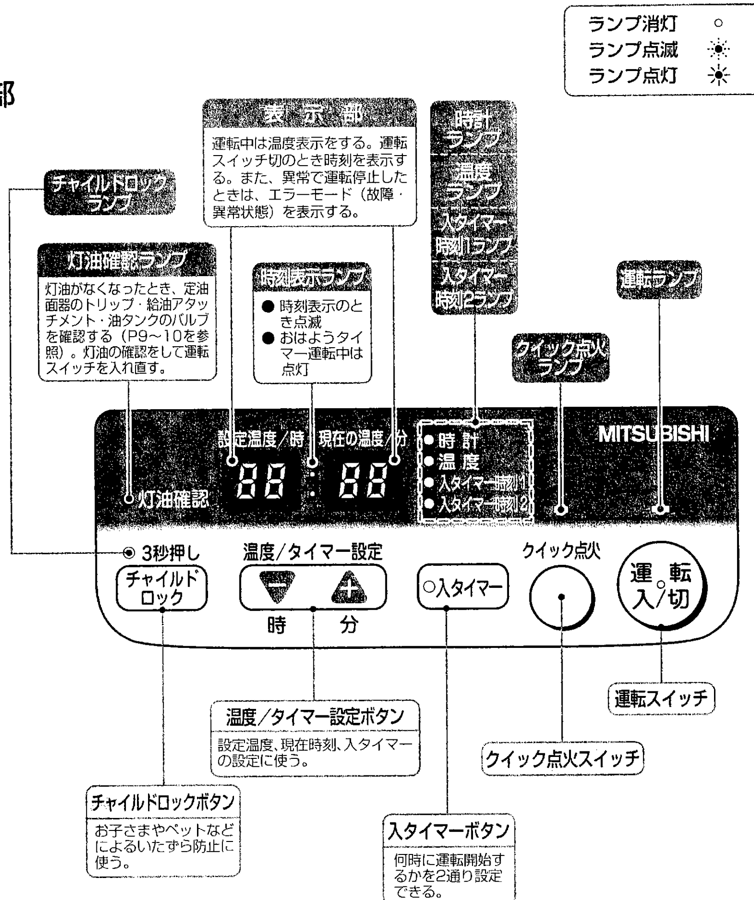
背面



※（　）のついている部品は別売りです。

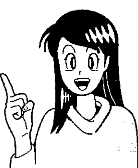
表示部・操作部のなまえとはたらき

表示部



操作部

わかりやすいボタンだから操作もカンタン！



使用前の準備（燃料・給油）

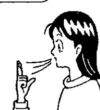
燃料

ガソリン厳禁

■必ずJIS1号灯油を使う
ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

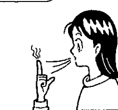
灯油とガソリンの見分けかた
指先につけて息をふきかけます。
（火の気のない所で行ってください）

灯油



ぬれたままです

ガソリン



すぐ乾いてしまいます

■変質灯油とは
● ポリタンクで昨シーズンより持ち越したもの。
● 日光のあたる場所で長期間保管したもの。
● 温度が高い場所で長期間保管したもの。

見分けかた
水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。

■不純灯油とは
● 水やごみが混入したもの。
● 灯油以外の油（天ぷら油、機械油、ガソリン等）が混入したもの。
● 助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用した場合は故障します。

表示部にエラー表示

E-01
E-13

販売店に修理依頼をする。

■油タンクの据付けの確認
油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客さまご自身でもご確認ください。……24ページ

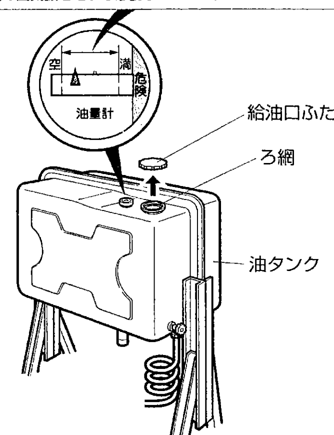
給油手順

空になる前に灯油を入れてください。
（空になると配管途中に空気がたまって、油が流れません）

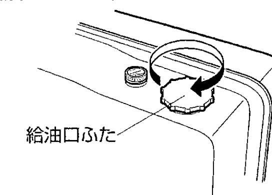
⚠警告 ガソリン厳禁

1. 油タンクの給油口ふたをはずす。
2. 給油口についている「ろ網」の上からこぼさないように灯油を入れる。

運転中も灯油切れをおこさないようこの範囲でご使用ください。
灯油切れをおこすと運転を停止して「E-01」のエラー表示が出ます。
一度空になると配管途中に空気がたまり、給油をしても灯油が流れなくなることがあります。
配管内の空気抜きをする必要があります。



3. 給油口ふたを確実に閉める。



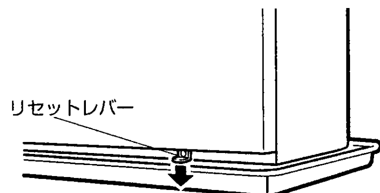
［お願い］
万一、こぼれた場合はよくふきとってください。

使用前の準備（運転開始前の準備・確認）

運転開始前の準備

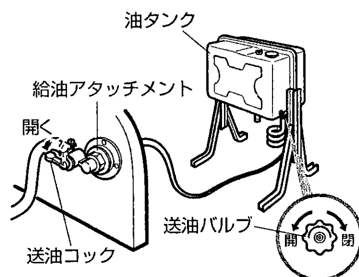
■定油面器のセット

1. 定油面器のリセットレバーを1回下げる。
2. リセットレバーが元の位置に戻っているか確認する。

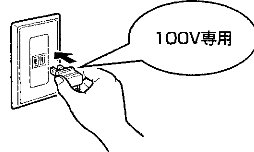


［お願い］
シーズン初めや本体に強い振動が加わって運転停止した後、また、灯油確認ランプが点滅した後で再運転するときは、リセットレバーをもう一度下げてください。

■油タンクの送油バルブと給油アタッチメントの送油コックを開く



■電源プラグをコンセントに差し込む

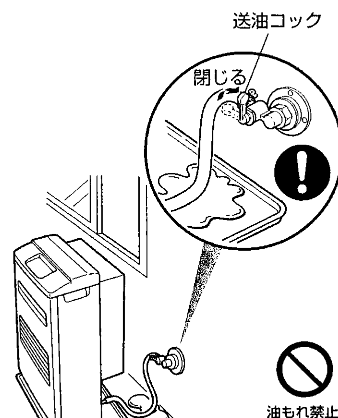


●専用のコンセントでご使用ください。他の電気製品と同じコンセントで使用すると、時計表示が進んだり、他の製品にノイズが入ったりする場合があります。

運転開始前の確認

■製品や配管から油漏れがないか確認してください。

万一、油漏れしている場合は送油コックを閉じて、必ずお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

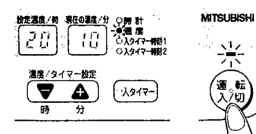


使いかた

ふだんの使いかた

点火のしかた

表示部・操作部



運転スイッチを押す

●運転ランプと温度ランプ・温度表示が点灯します。

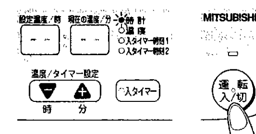
●しばらくして点火、温風が出ます。

メモ

● 灯油気化用のヒーターが暖まるのに5～6分かかります。

消火のしかた

表示部・操作部



運転スイッチを押す

●運転ランプが消灯します。

●しばらくして送風が止まります。

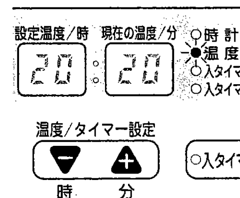
メモ

● 外出するときは、必ず消火してください。
● 時計合わせをすると時刻を表示します。……13ページ

温度調節

現在の温度が設定温度より約3℃高くなると自動的に消火し、設定温度まで下がると自動的に点火します。

表示部・操作部



▲ボタンを押す

●押すごとに1℃ずつ温度が上がります。

▼ボタンを押す

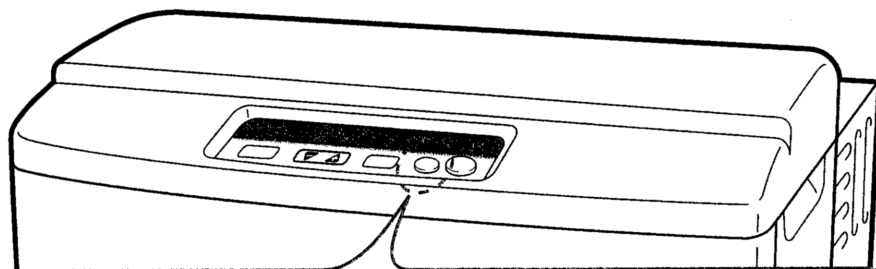
●押すごとに1℃ずつ温度が下がります。

メモ

● 設定温度は、8℃～30℃の範囲で調節できます。
● 温度調節は運転スイッチ「入」状態で行います。

ふだんの使いかた すぐ点火させるには(クイック点火)

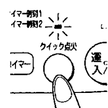
運転スイッチを押してから点火するまでの時間を短くするには、クイック点火スイッチを使用します。



クイック点火について

クイック点火スイッチを押しておくと、灯油気化用のヒーターを予熱しておきますので運転スイッチを押すと約30秒(温度条件により1分程度かかる場合があります)で点火します。

表示部・操作部



クイック点火スイッチを押す

● クイック点火ランプが点灯し、クイック点火モードになります。

メモ

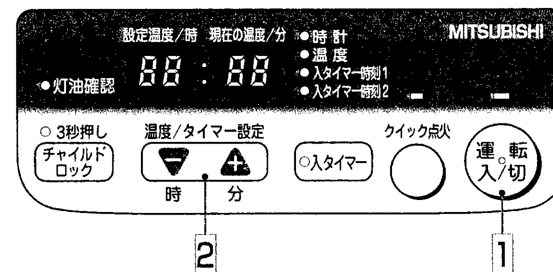
- クイック点火スイッチは、前もって押しておくスイッチです。
  運転スイッチを「入」にする直前に押しても効果はありません。
- 再度クイック点火スイッチを押すと解除され、ランプが消灯します。
- クイック点火スイッチを押した状態で24時間放置すると自動的にクイック点火が解除され、クイック点火ランプが点滅します。(クイック点火スイッチをもう一度押すと点滅が消えます)
  ※クイック 点火中は約120Wの電力を消費しますので、切り忘れによる電力消費のムダを防止します。
- クイック点火は外出のときなどにお使いいただくと便利ですが、通常のご使用では、節約のため「入タイマー」でご使用になることをおすすめします。
- 運転中にクイック点火スイッチを押しても、クイック点火待機中の消費電力は消費されません。

壁サーモについて

● 室内の温度計と現在の温度表示が合わない
現在の温度は壁サーモが測定した温度を表示しています。室内の他の温度計とは測定位置が異なるため一致しない場合があります。
また、現在の温度が設定温度より3℃高くなっても消火しない場合がありますが、異常ではありません。

● 室温コントロールが安定しない
製品の壁サーモ部に温風が流れていることがあります。壁サーモを温風の影響のないところに移動してください。

時計の合わせかた



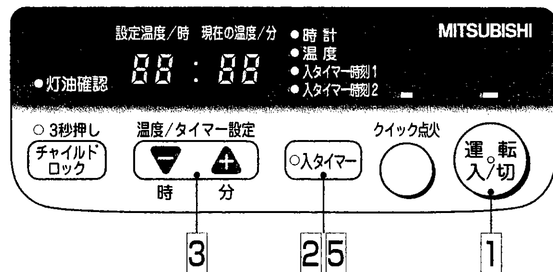
〈条件〉 時計合わせは運転スイッチが「切」のときにします。

表示部・操作部		メモ
1 (運転 入/切)	**運転スイッチを「切」にする**	
2 (設定温度/時 現在の温度/分 10:00 時計 温度 入タイマー)	**▼ボタンと▲ボタンのいずれかを押す** ● 時計ランプが点滅します。	● 工場出荷時は10:00です。
3 (温度/タイマー設定 ▼ ▲ 時 分)	**▼ボタンと▲ボタンを押して現在の時刻に合わせる**	● ▼ボタンを押すと0~23時まで切換えます。 ● ▲ボタンを押すと00~59分まで切換えます。 ● 1秒以上押し続けると早送りします。
4 (分 時計 温度 入タイマー時刻1 入タイマー時刻2)	**時刻合わせが終わると5秒後に自動的に時計がスタートします** ● 時計ランプが点灯し、時刻表示ランプ(時刻表示部中央のコロン)が点滅します。	● 運転スイッチを「入」にすると、直ちに時計がスタートします。 ● 時計表示したくない場合は運転スイッチを切にして、▲▼ボタンを同時に1秒以上押してください。表示部は−−:−−になります。

いろいろな使いかた

「入」タイマー運転のしかた（ウォーミングアップ運転機能付）

「入タイマー１」「入タイマー２」でそれぞれタイマー時刻を設定すると、平日と休日、朝と夕のように2通り別々の設定ができます。



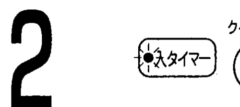
表示部・操作部

1



運転スイッチを押して「入」にする

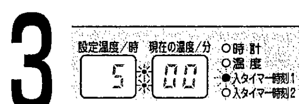
2



入タイマーボタンを押す

●入タイマー時刻１ランプが点灯し、入タイマー１時刻を表示します。

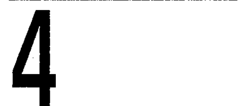
3



▼▲ボタンのいずれかを押す

●入タイマー時刻１ランプが点滅します。

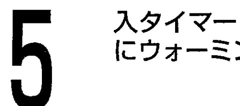
4



入タイマー1時刻を合わせる

●時計合わせのしかたと同じです。
……13ページ 3、4参照

5



入タイマー1時刻にほどよい温度になるようにウォーミングアップ運転で点火を行います。

メモ

- 入タイマー１の初期設定は５：00です。
- 入タイマー2の初期設定は７：00です。
- 時計が未設定のときは操作ができません。
- 入タイマーボタンは押すごとに
  入タイマー時刻1 → 入タイマー時刻2 → 入タイマー解除 → (入タイマー時刻1)
  と切換わります。

ミニ情報

ウォーミングアップ運転とは

入タイマー設定時刻の30分前に室温を検知し、その結果により右表のように一定時間早目に運転を開始する運転です。

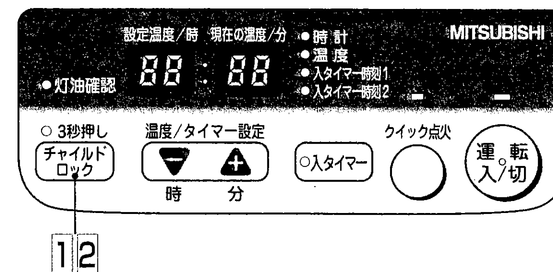
30分前の室温	5℃未満	5℃~15℃未満	15℃以上
運転開始時刻	26分前	16分前	6分前

- 現在の時刻から30分以内に入タイマー設定時刻が設定されていると、ウォーミングアップ運転は行わず、入タイマー時刻に運転を開始します。

いろいろな使いかた

いたずら防止に（チャイルドロック）/停電のとき

チャイルドロックボタンをセットしておくと、お子さまやペットなどによるいたずら操作を防止することができます。



表示部・操作部

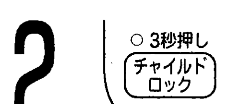
1



チャイルドロックボタンを３秒以上押す

●チャイルドロックランプが点灯します。

2



解除するには チャイルドロックボタンを３秒以上押す

●チャイルドロックランプが消灯します。

メモ

- ロックがかかるもの
  - ・入タイマーボタン
  - ・温度／タイマー設定ボタン
- ロックがかからないもの
  - ・運転スイッチ
  - ・クイック点火スイッチ

停電のとき

停電または電源プラグを抜いたときは時計合わせを行ってください。……13ページ
（一旦電源が切れたのち、再通電されているときは時計表示が点滅しています）
次の設定は停電前の設定を記憶しています。
●温度調節　●入タイマー1、2の時刻

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際は、けが防止のために手袋の着用をおすすめします。

■シーズンはじめ

●給気ホース・排気筒
1.背面カバー上板をはずして、給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認する。
2.排気筒と可燃物(壁など)との離隔距離を確認する。……23ページ

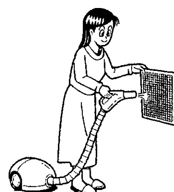
●給排気筒トップ
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検する。

●時計合わせ
時計合わせのしかたにより設定する。…13ページ

■1週間に1回程度

●エアーフィルターの清掃
エアーフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除く。

温風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行うと本体内部にほこりが入ることがあります。



■使用のたびに

●排気ガス
排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検する。排気ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

●油漏れ、油のたまり、油のにじみ
ゴム製送油管や置台に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検する。

●周囲の可燃物・引火物
本体の上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検する。

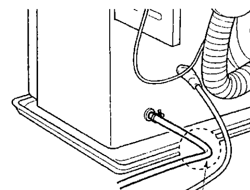
■1か月に1回以上

●外観の清掃
製品外観・温風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとる。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。



■1シーズンに2～3回

●ゴム製送油管
ひび割れがないかを確認する
ゴム製送油管は劣化することにより、ひび割れが生じ油漏れの原因になります。ひび割れがなくても3年に1度必ず新しいゴム製送油管に交換してください。
交換はお買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」ご相談窓口」にご相談ください。



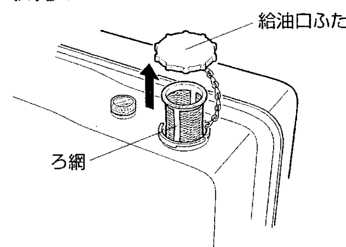
●ろ網
灯油で洗う

1 給油口ふたをはずす

2 ろ網を取りはずす

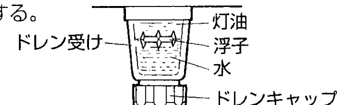
3 きれいな灯油で洗う

4 元通り、ろ網と給油口ふたを取付ける



[お願い] 水では洗わないでください。

●油タンクの水抜き
油タンク内に水が入るとドレン受け内の浮子が浮き上がって水が入ったことをお知らせします。
・浮子は灯油と水の中間の比重でできており、浮子より下側が水です。
・浮子が中ほどまで浮き上がったら水抜きをする。

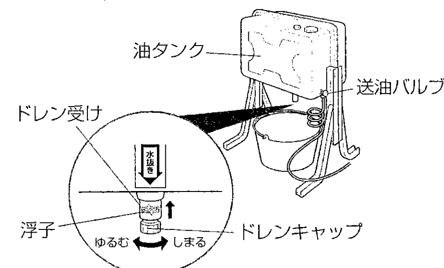


1 ドレン受けの下に大きめの容器を置く

2 ドレンキャップを半回転ほどゆるめると水が出ますので2～3秒後に一度閉める
・ドレンキャップは取りはずさないでください。(取りはずすと油タンク内の灯油が大量に出てしまいます)
・浮子がドレン受けの底に沈めば水がすべて抜けています。

3 浮子がまた浮き上がる(水が完全に抜けていない)場合は、もういちど2項の操作を行う
・浮子がドレン受けの底に沈むまでこの操作を行う

4 水が抜けたらドレンキャップを元通りしっかり締め付ける
・工具などを使用すると、ドレンキャップが破損することがあります。



定期点検 2シーズンに1回、定期点検をおすすめします。

使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品があります。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(☎03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で定期点検を受けてください。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

いつ
2シーズン毎
ただし、条件により1シーズン毎の点検が必要となる場合もあります。
- 湿度の高いところ
- ほこりの多いところ(厨房・製綿工場など)
- 温泉地域などでご使用の場合

どこへ
お買上げになった販売店
またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へ

費用
お買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換や修理等が必要な場合は、処置内容と費用についてお客さまにご相談申しあげます。

内容

定期点検の内容	項目
据付け状態、給排気回りの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり ●送油経路部の油漏れ ●給排気筒トップのつまり
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き ●運転動作の点検
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
製品の清掃・整備	●本体内部 ●油タンクの水抜き ●温風吹出口

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
- 給排気回りのはずれ、漏れの確認
- 送油経路部の油漏れ確認

☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へ修理依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

表示ランプにより異常をお知らせします

	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	異常過熱防止装置が作動している	「お買上げの販売店」にご相談ください
	異常着火検知装置が作動している	
E－00	停電がありませんでしたか？ **停電安全装置**が作動した	運転スイッチを押しなおし時刻設定をする ……13ページ
灯油確認ランプが点滅する E－01 (**点火安全装置・燃焼制御装置**)	定油面器がセットされていない	定油面器をセットする ……10ページ
	送油コック・送油バルブ・水フィルター付コックが閉まっている	閉められていてるバルブおよびコックを開く
	油タンクに油がない	給油する ……9ページ
	油タンクに水が入っている	油タンクの水抜きをする ……17ページ
	配管途中に凹凸配管がある	凹凸配管をなくす
	配管中の水フィルター付コックにゴミが詰まって油が流れない	掃除をする
	給排気筒トップの先端がふさがれている	先端のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押しなおす
	油タンク据付け高さが規定外である	お買上げの販売店にご相談ください
E－06	電源周波数の取り込みエラー	一旦電源プラグをコンセントから抜いて差し込みなおす
E－12	エアーフィルターにほこりがつまって**過熱防止装置**が作動した	エアーフィルターを清掃する
	温風吹出口がしゃ閉されて**過熱防止装置**が作動した	温風吹出口のしゃ閉物を取り除く
E－13	異常燃焼している (**異常燃焼検知装置**の作動)	給排気筒トップの給気口・排気口が異物でふさがれていないか確認し、異物を取り除いてから運転スイッチを押しなおす
	変質灯油・不純灯油の混入	お買上げの販売店にご相談ください

故障・異常の見分けかたと処置方法（つづき）

	原因	処置方法
E－17 運転ランプが 点滅する	強い地震や衝撃を受けていませんか？ **対震自動消火装置**が作動した	『地震などの災害が発生したとき』の点検項目を確認し運転スイッチを押しなおす ……18ページ
	温風吹出口がしゃ閉されて過熱防止装置（オートカット）が作動した	温風吹出口のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押しなおす
E－02	マイコン故障	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
E－03　E－04	ヒーター回路故障	
E－05	炎検知回路故障	
E－07	温風センサー故障	
E－08	ポンプ回路誤動作	
E－14	燃焼ファン回転数異常	
E－09	排気筒がはずれていませんか？ 古い排気筒で延長排気していませんか？ 排気筒の接続部にストッパーはつけられていますか？ 排気筒はずれ検知リードは正しく取付けられていますか？	お買上げの販売店にご連絡ください
現在の温度表示（L）	壁サーモ温度が6℃未満	そのままご使用ください 室温が上がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください
現在の温度表示（H）	壁サーモ温度が32℃以上	そのままご使用ください 室温が下がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	部品が故障している
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする	排気ガスが室内にもれている

故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
点火時	すぐ点火しない	運転スイッチを「入」にしてから灯油気化用のヒーターが暖まるまでに5～6分かかり、その後点火します
点火時	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
点火時	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	現在の温度表示が設定温度より高いと点火しません
燃焼時	現在の温度表示と他の温度計で測定した室温が一致しない	●現在の温度は壁サーモが測定した温度を表示しています。測定位置の違いにより一致しないことがあります。 ●温度調節がうまくいかない場合は背面カバーに取付けてある壁サーモカバーを上方にスライドしてはずし、温風、直射日光や冷風の影響を受けない場所に木ネジまたは、両面テープで固定してください。 ●サーモリード線は無理に引っ張らないでください。 壁サーモ（カバー） サーモリード線
燃焼時	5分に一回程度温風が変化する	燃焼制御装置が働いているためです
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
消火時・その他	時刻表示が進む	同一コンセントにノイズを発生しやすい製品が使用されている場合に生じることがあります

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。その後「お買上げの販売店」か、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

修理（部品交換のしかた）

お買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にお問い合わせください。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店にご相談ください。不完全な修理は危険です。
●ゴム製送油管は3年に1度必ず新品と交換してください。

保管（長期間使用しない場合）

■長期間使用しないとき（シーズン終了時）は、次の要領でお手入れしてください。
製品は据付けたままにしてください。

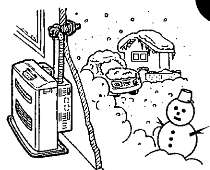
1. **電源プラグをコンセントから抜く。**
2. **油タンクの送油バルブと給油アタッチメントの送油コックを「閉」にする。**
   - 油タンク内に水が入っている場合は水抜き（17ページ参照）を行い、残った灯油はそのままタンク内に保管してください。
   - ゴム製送油管の劣化による油漏れを防止するため、必ず送油コックを閉めてください。
3. **製品外観、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をする。**

据付場所の選定

製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

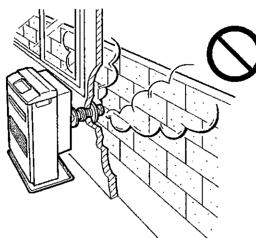
⚠警告

給排気筒トップ閉そく危険
積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪で埋もれない位置に取付けること。

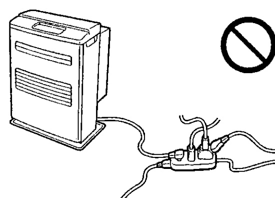


［お願い］

排気ガスがよどまないか確認する
排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。



タコ足配線で使わない
電源は交流100Vコンセント単独で使う。



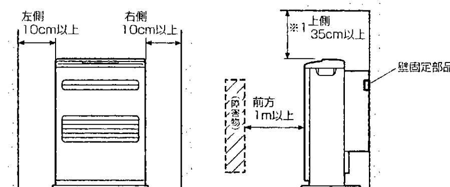
［お願い］	どうしても取りはずして保管するときは、湿気やほこりの少ないところに保管してください。 再び据付けるときは、必ずお買上げの販売店に依頼してください。 お客さまご自身では、据付工事をしないでください。 製品内部の清掃は、必ずお買上げの販売店に依頼してください。

据付け

製品と周囲との距離

製品を据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準〔(財)日本石油燃焼機器保守協会〕で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

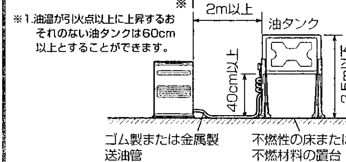
この製品は防火性能評定委員会で認定承認されたものですので上側60cm以上の制限を受けず、下記の寸法で据付可能です。



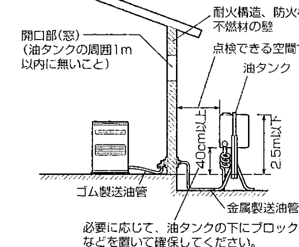
本体後面の空間距離は「10cm以上」必要です。本体付属の背面カバーで「10cm以上」が確保できます。
背面カバーが壁面に密着していることを確認してください。

※1. 別売りの中折れフィルターを使用しますと、20cmまで上側寸法を近づけることができます。
その場合は、左、右どちらか一方に裏面点検のため30cmを確保してください。

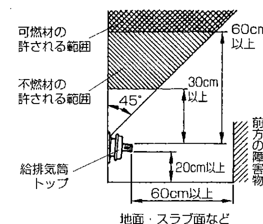
油タンク(200 ℓ 未満)を屋内に据付ける場合



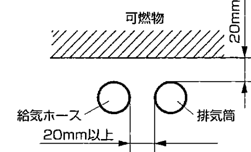
油タンク(200 ℓ 未満)を屋外に据付ける場合



付属のゴム製送油管が短く製品と油タンクとの離隔距離が確保できない場合や、ゴム製送油管が短く送油バルブに接続できない場合は、当社サービス部品のゴム製送油管3m品(M45508260)をご使用ください。
油タンクはアンカーボルトで床に固定するなど、転倒防止の処置を必ず行ってください。



排気筒と可燃物の離隔距離



据付け

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	参照ページ	チェック結果
製品	製品の回りは必要な空間がありますか。	23	
	床面の不安定な場所に据付けてありませんか。	–	
	丈夫な床面に製品が固定してありますか。	–	
	製品・ゴム製送油管から油漏れはありませんか。	10	
	ゴム製送油管を屋外で使用していませんか。(屋外は金属配管)	23	
	ゴム製送油管が排気部品に触れていませんか。また送油管に急激な曲がりはありませんか。	23	
	標高調節は正しく行われていますか。	–	
油タンク	油タンクや送油管から油漏れはありませんか。	9	
	油タンクの据付けは基準寸法が守られていますか。	23	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	23	
	排気筒は壁や給気ホースなどの可燃物から20mm以上離れていますか。	5	
	給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	4	
	排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	4	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっていますか。	–	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	4·5·22	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	6	
	トップフードが必ず取付けられていますか。	–	
	トップフードの給気口・排気口がビニール袋などの異物でふさがっていませんか。	4	
	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	–	
延長工事	床下・天井裏へ給排気してありませんか。	–	
	壁埋込みの配管工事はしてありませんか。	–	
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	–	
	給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	–	
	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	–	
	排気筒のドレン戻り寸法は1.8m以下になっていますか。	–	
	古い排気筒を使用していませんか。	–	
電気配線	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	5	
	電源コードは高温部に触れていませんか。	–	
	電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	–	
	ノイズの影響を受けやすいテレビやビデオなどと同じコンセントで使用していませんか。	10	
排気筒はずれ検知リード	排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	–	
	排気筒はずれ検知リードは、給気ホースにそって固定されていますか。	–	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

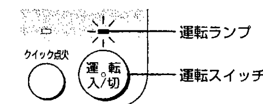
試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

運転準備

1. 油タンクに給油する。
2. 定油面器のリセットレバーを下へ1回下げて、元の位置に戻ることを確認する。
3. 油タンクの送油バルブと給油アタッチメントの送油コックを「開」にする。
4. 油タンクや送油管・ゴム製送油管から油漏れがないか確認する。
5. 電源プラグをコンセント(単相100V)に確実に差し込む。

運転開始と停止の手順



1. 運転スイッチを押して「入」にする。
   運転ランプが点灯し、5~6分後に燃焼を開始し、温風がでます。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。
2. 再度運転スイッチを押して「切」にする。
   運転ランプが消灯し、燃焼を停止します。しばらくして本体が冷えると対流用送風機が止まり、運転が停止します。

お知らせ

- 室内温度が30℃以上ある場合に試運転するときには温度/タイマー設定ボタン▲を5秒以上押し続けて「H」を表示させせると最大燃焼量で連続運転を行います。
- 連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、▼ボタンか運転スイッチを「切」にしても解除できます。

初期運転時の現象

- 初期運転時や燃料切れの際、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
- 温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、パッキンから初期的に発生する臭いや燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。
- 試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

正常運転の目安

- 正常運転の目安として、19~21ページのような現象がないことを確認ください。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のお問合わせは　　「修理窓口」へ
●その他のお問合わせは　「ご相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
(ただし、燃焼器部分については3年間です。)

補修用性能部品の保有期間は

■当社は、この三菱クリーンヒーターの補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

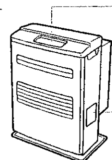
「故障かな?」と思ったら(19~21ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料+部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 品名　三菱クリーンヒーター
2. 形名　VKT-402L, 302L
3. お買上げ年・月・日
4. 故障状況と故障表示
(できるだけ具体的に)
5. ご住所
(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号



三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
(家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は



修理窓口　電話受付:365日24時間

北海道地区

札　幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	帯　広 (0155) 35-3111 帯広市西15条南 14-1-17
旭　川 (0166) 26-5580 旭川市曙1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北　見 (0157) 25-7045 北見市柏陽町 577-60	小　樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧　路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函　館 (0138) 49-0345 函館市西桔梗町 589-57

東北地区

青　森 (017) 773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184	秋　田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
弘　前 (0172) 32-6535 弘前市大字青山 4-20-3	横　手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2
八　戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8	大　館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
む　つ (0175) 22-3277 むつ市横迎町 2-11-7	山　形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
盛　岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	酒　田 (0234) 35-8230 酒田市上安町 1-11-11
水　沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3	鶴　岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
釜　石 (0193) 23-4611 釜石市定内町 3-10-1	米　沢 (0238) 37-5554 米沢市中田町 742-8
仙　台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23	福　島 (024) 534-7123 福島市御山字田中 58
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2	郡　山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
石　巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-268	会　津 (0242) 27-4426 会津若松市天寧寺町 3-7
古　川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1	原　町 (0244) 24-2842 原町市桜井町 1-173
	いわき (0246) 26-1822 いわき市内郷御台境町鶴巻 75-8

K01B

首都圏地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県
フロントセンター東京　電話 (03) 3424-1111
FAX (03) 3424-1115
東京都世田谷区池尻 3-10-3

甲信越地区

新　潟 (025) 274-9165 新潟市竹尾卸新町 752-9	長　野 (026) 221-3232 長野市稲葉 904
長　岡 (0258) 23-3323 長岡市南陽 1-1118-1	松　本 (0263) 27-2461 松本市芳川野溝 531
上　越 (0255) 24-1160 上越市春日山町 3-6-3	飯　田 (0265) 52-5396 飯田市上郷別府 3367-1
	山　梨 (055) 222-2711 甲府市下飯田 1-4-11

東海・北陸地区

愛知県・三重県
フロントセンター名古屋　電話 (052) 721-0131
FAX (052) 721-7268
名古屋市東区矢田南5-1-14

沼　津 (0559) 22-7111 沼津市若葉町 20-1	高　山 (0577) 33-7410 高山市冬頭町 981-5
静　岡 (054) 284-0821 静岡市中原 913	富　山 (0766) 56-0121 射水郡小杉町青井谷 1-1-1
浜　松 (053) 463-8455 浜松市上西町 62-5	金　沢 (076) 252-8133 金沢市小坂町西 97
岐　阜 (058) 275-0909 岐阜市中鶉 3-24	福　井 (0776) 22-6340 福井市問屋町 1-19
中津川 (0573) 65-6646 中津川市駒場字町裏 526-2	

関西地区

大阪府・奈良県・和歌山県(田辺・新宮を除く)
兵庫県(阪神・淡路地区)・京都府(畿北を除く)
フロントセンター関西　電話 (06) 6454-3901
FAX (06) 6454-3900
大阪市北区大淀中 1-4-13

滋　賀 (077) 552-4058 栗太郡栗東町安養寺 2-4-25	豊　岡 (0796) 24-6360 豊岡市中陰 376
畿　北 (0773) 23-5960 福知山市厚中町 61	田　辺 (0739) 23-1109 田辺市稲成町字西沖代79-7
姫　路 (0792) 94-3383 姫路市手柄 98	新　宮 (0735) 22-2495 新宮市池田 3-1-31

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

中国・四国地区

広島県・山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県
中・四国CSセンター　電話 (082) 890-6365
FAX (082) 890-6367
広島市南区大洲 4-3-26

九州地区

福　岡 (092) 412-5333 福岡市博多区豊 1-9-13	熊　本 (096) 380-0211 熊本市石原町 326-1
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区昭和 2-5-25	八　代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20	大　分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
佐　賀 (0952) 31-4189 佐賀市鍋島町大字八戸溝348-2	宮　崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田150-1
唐　津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50	延　岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
長　崎 (095) 843-0622 長崎市大橋町 23-4	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市木原町 155-1	沖　縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問合わせは
三菱電機お客さま相談センター 365日24時間
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

■全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル
0120-139-365 (通話料金無料)
いつも サンキュー　365日
■通常電話番号(携帯電話対応) 03-3414-9655
■FAX 03-3413-4049

当社家電品についてのご意見やご要望は
地区お客さま相談室
(月~金曜日 9:00~17:00 祝祭日を除く)

北海道	(011) 893-1313	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東　北	(022) 231-8282	〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏	(03) 3414-9722	〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
中　部	(052) 972-7222	〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-4-3
北　陸	(076) 252-1356	〒920-0811 金沢市小坂町西 81
関　西	(06) 6451-3611	〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-4-13
中　国	(082) 278-1322	〒733-0833 広島市西区商工センター 6-2-17
四　国	(087) 879-1190	〒761-1705 香川郡香川町大字川東下 717-1
九　州	(092) 571-2211	〒816-0088 福岡市博多区板付 4-6-35

K01B

仕様

型式の呼び		VKT-402L	VKT-302L
種類		気化式・屋内用密閉式強制給排気形・強制対流形	
点火方式		高圧放電点火・自動点火	
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)	
暖房出力	最大	3.95kW (3400kcal／h)	3.02kW (2600kcal／h)
	最小	2.56kW (2200kcal／h)	2.56kW (2200kcal／h)
熱効率	最大／最小	93／93%	93／93%
燃料消費量	最大／最小	0.443／0.287 ℓ／h	0.340／0.287 ℓ／h
暖房のめやす	温暖地	木造10畳(16.5m^2)まで／コンクリート14畳(23.0m^2)まで	木造8畳(13.0m^2)まで／コンクリート11畳(18.5m^2)まで
	寒冷地	木造11畳(18.5m^2)まで／コンクリート17畳(28.0m^2)まで	木造8畳(13.0m^2)まで／コンクリート13畳(21.5m^2)まで
外形寸法(置台を含む)		高さ575mm、幅435mm、奥行350mm	
質量		18kg	
電源電圧および周波数		100V 50／60Hz	
定格消費電力	最大消費電力	(点火時)380／380W	
	燃焼時消費電力	31／33W	27／30W
給排気筒の型式の呼び		VGZ-22UGT$_2$-N	
給排気筒呼び径		D34(使用Oリング：呼びP34 JIS B2401 4種D)	
給排気筒壁貫通部孔径		65mm	
排気温度		260℃以下	
電流ヒューズ		8A・3A	
温度ヒューズ		172℃・227℃	
安全装置		対震自動消火装置・過熱防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置	
その他の装置		異常過熱防止装置・異常着火検知装置・排気筒はずれ検知装置・異常燃焼検知装置	
付属品		●給排気筒トップ取付ネジ 皿ネジ3本 ●室内傾斜フランジ 1個 ●絶縁パイプ 1個 ●室外傾斜フランジ 1個 ●室内傾斜フランジ取付ネジ 木ネジ3本 ●トップフード 1個 ●給気ホースバンド 1個 ●コードバンド 2本	●壁固定部品 2個 ●壁固定部品取付ネジ 2本 ●ゴム製送油管(締付金具2個付) 1本 ●床固定取付ネジ 2本 ●C形ストッパー 2個 ●リードクリップ 2個 ●壁厚対応スペーサー 3個 ●伸縮管 1本

※暖房のめやすは(社)日本ガス石油機器工業会の基準によります。
※寒冷地の住宅は二重窓、断熱材施工の条件などが異なるため温暖地より広い部屋に対応できることになります。

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

ご使用の際このような症状はありませんか。		使用中止	
	●排気パイプがはずれている。 ●臭いがしたり、目がチカチカする。 ●本体後部の壁がススで汚れている。 ●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。 ●点火しない。使用中炎がたびたび消える。 ●運転中に「ボーン」という大きな音がする。 ●その他の異常・故障がある。		故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱クリーンヒーターを廃棄処分される場合は、本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

形名	
お買上げ年月日	
お買上げ店名 (住所) (電話番号)	

三菱電機株式会社
群馬製作所 〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800